

施策目標 重点施策1 子ども・若者の権利を守る米原市の推進

指標		実績値(R6)	目標値(R11)	備考
子どもの権利の認知度 (「名前も内容も知っている」割合)	就学前保護者	33.2%	70.0%	(こども大綱)「こどもまんなか社会の実現に向かっている」と思う人の割合 15.7%(R5)→70%(R10) (注) 16～49歳の回答結果
	小学生保護者	28.4%	70.0%	(こども大綱)「こども政策に関して自身の意見が聴いてもらえていると思うこども・若者の割合 20.3%(R5)→70%(R10) (注)16～29歳の回答結果
	子ども・若者	25.3%	70.0%	(こどもまんなか実行計画)「こどもの権利条約」の認知度 小学1～3年生 16.8%、小学4～6年生 32% 中学生 43.2% 高校生 67.1% 大人 53.2% (R5)
最近の生活に満足している子どもの割合 (「十分満足している」「ある程度満足している」割合)	小学校5年生	80.4%	85.0%	(こども大綱)「生活に満足している」と思うこどもの割合 60.8%(R4)→70%(R10)
	中学校2年生	65.3%	70.0%	(注) 0～10の選択肢で7以上と答えた15歳の割合
「自分は家族に大切にされている」と思う子どもの割合 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」割合)	小学校5年生	95.6%	現状維持	
	中学校2年生	93.2%	現状維持	
米原市の行政に関心がある子ども・若者の割合 (「非常に関心がある」「どちらかといえば関心がある」割合)		44.3%	60.0%	

施策目標 重点施策2 すべての子ども・若者が夢を育める環境づくり

指標		実績(R6)	目標値(R11)	備考
「自分のことが好きだ」と思う子どもの割合 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」割合)	小学校5年生	72.0%	80.0%	(こども大綱)「今の自分が好きだ」と思うこども・若者の割合 (自己肯定感の高さ) 60%(R4)→70%(R10)
	中学校2年生	61.1%	70.0%	(注) 15～39歳の回答結果
「今の自分が好きだ」と思う子ども・若者の割合 (「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」割合)		61.8%	70.0%	
「自分の将来について明るい希望がある」と思う子ども・若者の割合 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」割合)		71.7%	80.0%	(こども大綱)「自分の将来について明るい希望がある」と思うこども・若者の割合 66.4%(R4)→80%(R10) (注)15～39歳の回答結果

指標		実績(R6)	目標値(R11)	備考
「自分には自分らしさというものがある」と思う子ども・若者の割合 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」割合)		83.3%	90.0%	(こども大綱)「自分には自分らしさというものがある」と思う 子ども・若者の割合 84.1%(R4)→90%(R10) (注)15～39 歳の回答結果
地域の子どもの居場所が 1 つ以上ある小学校区 ※月 1 回以上開設している冒険遊び場、子ども食堂、学習支援等		4	9	
子どものスマートフォンやタブレットなどの使用について不安や悩みがある保護者の割合の減少	就学前保護者	27.0%	25.0%	
	小学生保護者	36.4%	25.0%	

施策目標 重点施策3 子育て家庭のゆとりを生み出す環境づくり

指標名		実績値(R6)	目標値(R11)	備考
米原市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 (「思う」「どちらかといえば思う」割合)	就学前保護者	76.7%	90.0%	
	小学生保護者	84.4%	90.0%	
子育てに不安や負担を感じる保護者の割合の減少 (「よく感じる」「ときどき感じる」割合)	就学前保護者	71.5%	60.0%	
	小学生保護者	69.8%	60.0%	

施策目標 重点施策4 社会的な支援を必要とする子ども・若者への支援

指標名		実績値(R6)	目標値(R11)	備考
「困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいる」と思う子どもの割合 (「だれにも相談できない」「相談したくない」「不明・無回答」以外の割合)	小学校 5 年生	86.5%	95.0%	(こども大綱)「どこかに助けてくれる人がいる」と思う 子ども・若者の割合 97.1%(R4)→現状維持(R10) (注)15～39 歳の回答結果。「家族・親族」、「学校で出会った友人」、「地域の 人」、「職場・アルバイト関係の人」「インターネット上における人やグループ」の全てについ て、「困ったときは助けてくれる」に対して「そう思わない」または「どちらかといえば、そうは 思わない」と回答した者（無回答者を含む）の割合を全体から減じた割合
	中学校 2 年生	87.8%	95.0%	
「どこかに助けてくれる人がいる」と思う子ども・若者の割合 (「家族・親族」、「学校で出会った友人」、「地域の人」、「職場・アルバイト関係の人」「イ ンターネット上における人やグループ」の全てについて、「困ったときは助けてくれる」に対して 「そう思わない」または「どちらかといえば、そうは思わない」と回答した者（無回答者を含 む）の割合を全体から減じた割合)		97.6%	現状維持	
「社会生活や日常生活を円滑に過ごすことができる」と思う子ども・若 者の割合 「あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありま したか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送っていない状況がありますか。」に 対して「なかった」または「どちらかといえば、なかった」と回答した者の割合		59.4%	70.0%	(こども大綱)「社会生活や日常生活を円滑に過ごすことが できている」と思う子ども・若者の割合 51.5%(R4)→70%(R10) (注)15～39 歳の回答結果。「あなたは今までに、社会生活や日常生活を円 滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活 を円滑に送っていない状況がありますか。」に対して「なかった」または「どちらかといえ ば、なかった」と回答した者の割合